

## 藤里町長選挙

# 佐々木文明氏 2期目を無投票当選

任期満了に伴う藤里町長選挙が7月28日に告示され、現職の佐々木文明氏（58歳）以外に立候補の届け出がなく、無投票での2期目当選を果たしました。



2期目を迎え花束を贈られる佐々木町長

様々なプロジェクトに参加して負担も増えてきていると思うが、策定までがんばっていたらよかった。また、小さい自治体ではあるが横断的・縦断的にスクラムを組んで補完しあいながら大きい自治体に対抗していかなければならない。そのためにも、今一度原点に帰って報告・連絡・相談を徹底して町を盛り上げていってほしい。そして何より健康に留意しながら、がんばっていただきたい。」と挨拶されました。

### 【略歴】

昭和31年11月3日生まれ 能代高等学校卒業後、役場入り。農林商工課長、商工観光課長を経て、平成23年7月町長選に立候補し、初当選。県町村会理事・能代山本広域市町村圏組合理事・秋田県指定水防管理団体連合協議会理事・県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会会長など。

8月10日、改選後初登庁された佐々木町長は、職員を前に「二期目にあたり、特別に何をやらなければならない、ということではなく、従来どおりやってほしいと思っているが、地方創生が一番のメインになってくるのではないかと思う。



## 就任にあたって

このたび、町民の皆様方の絶大なるご支持、ご支援を賜りまして、二期目の町政を担わせていただくことになりました。これまでのご指導、ご援助に対しまして、衷心より厚くお礼を申し上げますと共に、再選に当たりまして皆様方にお示し申し上げました重点事項の実現に向けて、着実に歩みを進めて参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

従来まで計画していた各種事業の実現はもとより、二期目の最重要課題は何と申しましたが、持続可能な町づくりを進めるための、地方創生への取り組みであります。将来も住みよい、住み続けたい町の構築のために、あらゆる方策を実施したいと考えておりますし、これらの確実な実現のためにも、実践する「人づくり」にも並行して取り組んで参ります。

基幹産業である農林業の振興につきましては、従来どおりの助成事業は継続しつつも、若い後継者或いは、担い手の確保が急務でありますので、国・県の支援事業を活用しながら、確実に自立できる体制の構築として、更に数年間の支援体制を整備して参りたいと思っております。

人口減少、少子化対策の一環といたしましては、空き家の有効活用に加え、新しい形式の公営住宅の整備を模索すると共に新教育委員会制度のもと、当町に相応しい教育環境の整備を進める必要がありますので、これらの実現に向けて全力で邁進することをお誓い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。